

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+16.8%、前年同月比+10.6%。売上高は前月比+16%、前年同月比+30.6%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料等は依然として値上がりしている。加えて、人件費も上がり更なる負担になってきている。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

暖冬の影響もあり、売上や収益は前月比、前年同月比ともに減少している。原材料の高騰なども改善せず、業界全体として厳しい状況が続いている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・1月の新設住宅着工戸数は58,849戸で前年同月比▲7.5%、季節調整済年率換算値では802千戸(前月比▲1.5%)となった。利用関係別では、持家は14,805戸で前年同月比▲11.0%、貸家は24,681戸で+2.7%、分譲住宅は19,039戸で▲16.1%、また木造住宅は31,754戸で前年同月比▲2.3%であった
- ・前年同月比は、持家が26ヶ月連続で減少、貸家が6ヵ月ぶりの増加、分譲住宅は再び減少に転じ、木造住宅は22ヶ月連続の減少となった

【広島県】

- ・1月の新設住宅着工戸数は971戸で前年同月比▲28.1%、うち持家は261戸で▲14.7%、貸家は412戸で▲31.6%、分譲は298戸で▲32.6%であった。前年同月比は再び減少に転じ、延床面積も前年同月比▲25.0%となっている
- ・プレカット工場の稼働率は、木材需要の低下により伸びない状況が長引いている。今後も、住宅の省エネ性能、物流費アップ等により住宅の高価格化が進む要素もあり、住宅での木材需要の先行き見通しは厳しいことが想定される

福山木材協同組合

着工数が伸びず、大変苦戦している。3月は多少動きが良くなったが、長続きするかどうかは分からない。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。某自動車メーカーの不正問題は決して他人事ではなく、法に沿った対応を怠ってはいけない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・自動車関係は低調を推移しており、その他は横ばい傾向にある
- ・円安の影響やエネルギー価格、原材料価格高騰による影響が心配である

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和6年02月 2,467 m³ (対前年比116.7%)
 - 令和6年01月 2,182 m³
 - 令和5年01月 2,114 m³
- ・令和5年度想定数量
760,000 m³

広島県西部砕石協同組合

地区内生コン需要の減少により生産量および売上高が減少。今年度は例年に比べ仕事量が減少し、加えて燃料、部品・修理代等の値上げ、設備老朽化対策のためのコストアップにより、収益性は悪化している。製品値上げのための活動を継続しているが、顧客の理解が得られにくい。これから新年度になり、顧客の方も閑散期となるので出荷の低下が予想される。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

靱鉄鋼協同組合連合会

人手不足と購入品の価格上昇が大きな問題になっている。経営者の意識改革も必要で、「ダイバーシティ経営」への転換も今後の課題と思われる。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+3.0%、前年同月比▲6.0%となった。また、日工会が発表した1月の工作機械受注実績は前年同月比▲14.0%の1,109億6,000万円となった。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比▲5.0%、前年同月比▲15.0%となった。機械装置の売上減少が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は国内・海外とも需要は盛んで順調に増える状況。全体的には北米の堅調な需要に支えられている。

(2月度自動車国内販売動向)

全需は345千台、前年同月比▲19.2%と2ヶ月連続で減少。(登録車は▲16.0%、軽自動車は▲24.8%)、マツダ車は▲25.4%と3ヶ月連続で減少。マツダの内訳は登録車▲33.5%(9.4千台)、軽自動車+10.4%(3.5千台)

(1月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,087千台で、前年同月比+2.0%と上昇に転じた。マツダは+31.8%と、前年同月比は3ヶ月連続で増加した。

欧州の全需は1,089台で、前年同月比+10.1%と3ヶ月振りに増加に転じた。マツダは▲16.6%と2ヶ月連続で減少した。

中国の全需は2,532千台で、前年同月比+53.5%と4ヶ月連続で増加。マツダは+219.4%と急増した。

マツダの1月の海外販売は、欧州と東南アジアでは苦戦しているが、北米の堅調さと中国市場での復活により全体では堅調な伸びを示している。合計台数は86.7千台、前年同月比+15.6%と増加となった。

(1月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比▲16.8%と生産支障による影響で減少。国内生産台数は、前年同月比で▲13.0%と減少した。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年1月の船舶建造許可実績は2隻、153,400総トンであった。(前月3隻149,040総トン、前年同月4隻181,700総トン)なお、内訳は、輸出船が2隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・売上高は徐々に上昇基調にあるが、景況感は横ばいが続いている。コスト高の一番の要因は原材料価格の上昇であるが、人件費上昇と為替変動(円安)も主要要因となっている。採算状況は若干改善してきているが、他業種(製造・小売など)と比べると改善幅は緩やかである
- ・資金繰り面も一時期の厳しさは脱した感はあるが、企業毎に違いがあるため一概に改善したとは言えない

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

ケーブルの不足が2月に入り徐々に回復傾向にある。3月1日より、「広島市省エネ機器導入支援事業補助金」の申請がスタートする中、国の補助金以外では最大規模の補助金となり、今回は抽選となるため問合せが多くなってきている状況。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

当月の取扱高は、びんご特撰が前年比81.3%、JAS畳表が前年比80.2%となった。全体の取扱高は前年比83.9%と依然厳しい状況が続いている。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・2月度の中央市場水産部の取扱高は前年実績を上回ったが、コロナ禍以前の水準までには至っていない
- ・2月度の中央市場青果部の取扱高は、前年より減少した。野菜は前年よりも出荷量増加や需要減少から、相場安となる一方で、果実は全体的な成育不足により出荷量が大幅に減少したことで、相場高となった
- ・食品小売業者は、高騰する電気やガスなどの水道光熱費や、人手不足や最低賃金の上昇による人件費増加分を経営努力だけでは価格転嫁できず、利益率の低い体質と相まって、赤字や減益から脱却できていない

協同組合三次ショッピングセンター

核店舗のスーパーマーケットが大々的にセールを行い全体の客数は増えているが、専門店の売り上げは伸び悩んでいる。新規顧客の獲得に苦戦しており、SNSを中心にPRを積極的に行っている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年2月度販売実績94%（前年同月比）。AV商品94%、白物商品95%、薄型テレビ97%（内有機EL100%）、DVD74%、冷蔵庫90%、洗濯機83%、IHクッキングヒーター90%、エコキュート93%、エアコン108%、炊飯器101%、電子レンジ92%、掃除機85%。

国内家電メーカーが商品陣容を縮小したことで、専門電気店は家電以外の事業で利益確保が必須となる。また、海外メーカーや国内メーカーの海外生産商品は品質に課題がある。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

2月14日（水）に「どうする商店街90（キューマル）会議」の第3回会議が開催され、3月17日（日）のキックオフイベントの進行案が協議・決定された。当日は、呉レンガ通りにイベントステージを設け、商店街の若手経営者のトークショー、PRなどを行う。また、3月初旬にSNSサイトを立ち上げて、毎週水曜日に起業者インタビュー、季節ごとの商店街イベントや商店街活動紹介、お店紹介や街の魅力発信などを投稿することも決定した。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+32.9%、前年比▲5.8%
- ・車検場収入は、前月比+29.8%、前年比▲5.2%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+22.1%、前年比▲16.7%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

単発特需もあり売上については増加した。現場は稼働しているが、製作物等の稼働は例年に比べ減少見込み。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

原材料費など的高騰による影響が徐々にでてきている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比+21.2%、前年同月比▲36.3%となった。物件の少ない状況は変わらない。さらに、専門工事業における職人不足が顕著で工期の遅れなどが発生している。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、711件で前年同月比209%となった。

神辺建設業協同組合

物価高騰や人材不足が続いている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・2月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格は原油価格の上昇により値上げとなった
- ・運送件数や運賃が上昇したことにより、収益が回復傾向にある

松永地区トラック事業協同組合

2月の売上高は、前月比、前年同月比ともに大きな変化はなかった。全体的に荷動きが悪い状況が続いている。空車回送を避けるために復路貨物を業者に斡旋してもらうことが多いが、中部、関西方面で直接取引している荷主がないため、条件交渉の分が悪く、安い運賃で取引する機会が多い。運賃が安くても燃料代の足しになるため、無理をして取引している。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・売上高の前月比・前年同月比は増加している。今年度全体で見ると固定資産評価の公的評価作業が無い分収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、商業地域での売買が、金融機関の融資規制で依然として減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しており、マンション販売については、建築価格の高騰等で販売価格がかなり高くなっている（市内中区の一般的な70㎡程度の物件で、4,500万円～6,000万円程、3、4年前から1,500万円上昇している）。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。